

都有施設におけるアスベスト再点検の実施 — 東京都 —



東京都は平成 17 年から都有施設のアスベスト使用状況を調査し、アスベストが確認された施設を公表することによって、飛散防止対策を進めてきました。これまで、建材中に含まれるアスベストの種類はクリソタイル、アモサイト、クロシドライトの主要 3 種類とされてきましたが、東京都は使用されていないと考えられるトレモライト、アンソフィライト、アクチノライトについても万全を期すため、あらためて分析を行うこととしました。

調査対象とする都有施設は、主要 3 種類のアスベストの分析を実施し、含有されていないことが判明している施設で、トレモライト等のアスベストの有無が確認されていない約 500 の施設になります。

分析スケジュールは、吹付け材が使用されている部屋の使用頻度と吹付け材の劣化・損傷状況から、優先度をⅠ・Ⅱ・Ⅲにランク分けし、優先度が高いランクⅠから順次分析を行っていきます。ランク分けの判断基準として、使用頻度の高い事務所・教室・宿舍などは優先度が高く、ほとんど人の出入りのない倉庫・無人の機械室などは優先度が低くなっています。その中でも劣化の状況について、劣化・損傷・剥離が全面的に見られれば優先度が高く、表面が安定し劣化・損傷がなければ優先度が低くなります。

アスベスト含有吹付け材の使用が判明した施設については、分析スケジュールの優先度に応じて、ランクⅠでは原則平成 20 年度中に飛散対策防止を実施し、Ⅱでは状況に応じてなるべく早い時期に飛散防止対策を実施、Ⅲは当面現状維持としています。

アスベストの分析に当社は実績と経験があります。まずはお気軽にご相談下さい。

資料 2008 年 1 月 25 日付 東京都 報道発表資料

無機分析箇所 櫻内大介